



# 成田ロータリークラブ 週報



国際ロータリー2015～16年度会長 K.R. ラビンドラン

## 第 2678 回例会 平成 27 年 10 月 30 日(金)

- ◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテスト 喜久川 登 会員
- ◇ お客様

米山記念奨学生 王 怡韵 様

(世話クラブ：佐倉ロータリークラブ)



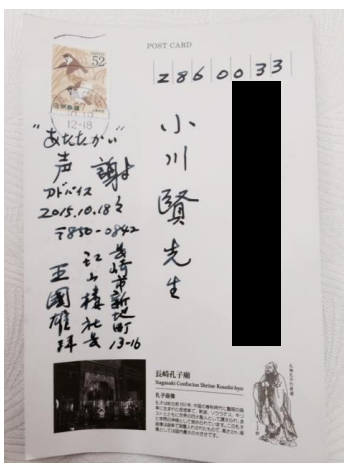
### ◇ ニコニコボックス

**小川 賢 会員**：10月16日から2泊3日、成田ロータリークラブ親睦旅行で長崎・伊王島コースに家内と参加しました。3日目の昼食は長崎中華街の江山楼という大きなお店でした。食事もおいしく、担当の仲居さんのおもてなしは格別でした。年頃はおばあちゃんと言ってもいいくらいでしたが、「おかあさん若くてお元気ですね」、「お客さんこそお若く見えますよ。一つお兄さんですね。」と打ち解けた会話になりました。



退席時に「おかあさん、健康な身体で、健康な心で、健康な仕事をいつまでも続けて下さい。」と感謝の気持ちを伝えてお別れしました。

2日後の10月20日、江山楼 王國雄社長さんから絵葉書を頂きました。「あたたかい 声 アドバイス 謝謝」と書かれていました。社会保険労務士の立場から感じたことは、このお店では、社長と従業員のミーティングが毎日行われて、「報連相」報告・連絡・相談がされている、善い事は継続し改善すべきことは直していく。社長と従業員が一体となって社長の経営に対する思い、お店の経営理念を共有して、お店が繁盛すれば従業員もよくなるという信頼感、皆でお店の繁栄に努力されている姿が目に見えるようです。



この度の旅行で素晴らしい思い出を頂きました。おかあさんのご健勝と江山楼さんの一層のご発展を記念してニコニコいたします。

**南日 隆男 会員**：先週 25 日の日曜日、成田空港～ベルギー王国のブリュッセル線を新規就航いたしました。森田健作知事と、在日大使ご夫妻にもお起こしいただきました。来年が日本とベルギー王国の友好関係樹立 150 周年にあたるそうです。益々日本とベルギーの



交流が盛んになると思います、また皆さんの旅先にも選んでいただければと思います。

**諸岡 靖彦 会員：**今朝早起きをしまして、JR、京成成田の駅前で

“圏央道建設促進県民会議”という団体での（県内の政界、経済会、その他の団体の寄せ集め）、ピラ配りの活動に参加してきました。代表者はディズニーランドの加賀美さん、千葉銀行の佐久間頭取、お見えになりませんでした。商工会連合会の石井さん、そういう方々がトップで県会議員の先生方も大勢いらっしゃいました。勿論、小池会員もお出ででした。その中で、どのくらいの進行状況なのかというと、県は少し及び腰のような話をしておりましたが、県会議員の先生方は 2020 年の東京オリンピックまでには圏央道を通すんだというくらいの意気込みで動いているということです。駅前にはニュータウンからの方、JR 京成の乗り継ぎ、乗り換えのお客様で、その時間は相当ごった返しております。ちょうど駅前の工事が行われておりますので、ちょっと狭苦しいところでありましたが、大勢の方にピラを配ることができました。ピラを配って気がついたことは、交通量が多いということとゴミが多いことです。拾ったゴミを捨てる場所が無いということも気になりました。やはり千葉の経済、とくに空港周辺、県南、県東の地域開発に道路は欠かせません。千葉北道路、圏央道、我々も道路の開通により恩恵を受ける立場になりますし、地域の経済発展に欠かすことのできないことだと思います。今後ともそういう活動を続けてまいりたいと思います。



#### ◇ 会長挨拶

佐瀬 和年 会長

来月の役員会で承認を戴く予定の 55 周年記念事業に付きまして、少しお話いたします。

記念事業は 2 つの構成になっております

■ 記念誌を制作する ■ パーティを行う 【二部門の構成】



#### 記念誌のポイント【重要】

■ 自己の内側を見つめ、今に至る自分形成の軸になっているものは、何だろうか  
転換期にあった出来事は

■ ポールハリスの「ロータリーへの道」

この本の大半はポールハリスの生い立ちについて書かれた物語です  
ロータリークラブ開設にいたるまでの「自分」物語です

自分の内側を覗き、自分がどのような出来方をしているのか

自分形成の基はどんなものだったのだろうか

自分が歩んできた道なので「夢物語」でなく、確かなストーリーです  
事実を紹介しつつ、理解しあえる仲間創りをして行きましょう

## ◇ 入会式

村嶋 隆美 (むらしま たかみ) 会員 社会福祉法人 豊立会  
推薦人 藤崎 壽路 会員、沢田 喜信 会員、矢島 紀昭 会員  
顧問 沢田 喜信 会員  
所属委員会 奉仕プロジェクト委員会 青少年奉仕

S. A. A.

職業分類 老人介護施設

この度は伝統と格式のある成田ロータリークラブへ入会を認めていただきありがとうございます。市の職員時代は、このようなロータリークラブの一員になれるとは夢にも思っていませんでした。本当に光栄に思います。これからは、皆さんに親しくして頂き、ロータリークラブの活動に参加させていただきたいと思っております。全くわかりませんのでご指導のほどよろしくお願いいたします。



## ◇ 委員会報告

### ・会員増強・退会防止委員会 平山 秀樹 委員長

本日、お手元に会員候補紹介カードのお願いについてという文書を配布させていただきました。これは地区の方針でございまして3,000名を目指すということで、会員各人から2名ずつ候補を出そうということで、会員増強・退会防止委員会で話し合った結果、このようなお手紙を配布しようということになりました。今回、成田ロータリークラブらしいやり方をやりたいということで討議をしまして、クラブ活動計画書を見ていただければわかるのですが、職業分類でまだ空いているところがございます。ここを皆様の知り合いや、地域で活動を活発にされている方を御紹介していただき、会員候補とすることを考えております。皆様からあげていただいた会員候補を会員増強で検討させて頂き、お声がけさせていただくという形式をとらせていただければと思っております。地区の方からは義務にしろと言われましたが、義務とはせず、1名でも2名でも、お願いベースで結構です。11月27日までにご記入していただき、今後の活力ある成田ロータリークラブの活動に資するためと思ってお協力いただければと思います。



## ◇ 幹事報告 深堀 伸之 幹事

### 《回覧》

・行事出欠表を回覧しております。

11月13日新会員の研修会、歓迎会。場所：U-シティホテル

11月14日つり同好会

- ・2015年ソウル国際大会の締め切り延長
- ・米山豆辞典、ガバナー月信合本
- ・NEWS LETTER 11 国際交流協会



## 《連絡》

- ・11月6日、第5回理事役員会を例会前11時から行います。  
(関係者、モンゴル視察のため)

### ◇ 卓話に先がけ

- ・ロータリー財団・米山記念奨学委員会 遠藤 英一 委員長

本日米山奨学生の卓話が行われます。お手元に米山豆辞典を配布いたしました。目を通していただき理解を深めて頂き、再度米山記念奨学金にご配慮いただき、ご寄付をいただければありがたいと思います。



- ・第2790地区米山記念奨学委員会 2015-16 委員長 堀口路加

皆さん、こんにちは。

今年度、地区米山記念奨学委員会の委員長として地区に出向させていただきます。堀口です。

ガバナー訪問で櫻木ガバナーも仰いましたが、第2790地区において成田ロータリークラブはお手本であり、リーダー的なクラブであることを、地区に出てみると強く感じます。特に、米山記念奨学事業における成田ロータリークラブの貢献度は地区内において最も高く、転籍後3年の私が地区委員をさせていただき、今年度地区委員長を仰せつかっておりますのも、生前、米山記念奨学会の副理事長を務められた平山金吾会員の熱心なお働きと成田ロータリークラブの皆さんのご理解・ご協力の歴史と実績があつてのことです。



米山記念奨学会のホームページに公開されている寄付金の状況を少し紹介いたしますと、6月30日現在で、成田ロータリークラブの寄付金累計額は63,235,111円、特別寄付金累計額54,504,761円、昨年度の特別寄付金額2,592,000円は地区内で群を抜いてトップの額です。

これまでクラブとして何人の米山奨学生を受け入れてくださったのか、あらためて数えてみないと正確な数がわかりませんが、昨年度、一昨年度はムクバト君を受け入れてくださいました。そしてこれからの新しい国際奉仕活動として、元米山奨学生のシルネンヤンジャルガル君が校長を務めるモンゴル高専への支援を始めようとしてくださることは、本当にありがたいことであり、感謝申し上げます。

来週、佐瀬会長、平山秀樹会員とともにモンゴルに行つて、モンゴル高専の視察をしてまいります。この旅行に際しても国際奉仕委員会と皆様からのご理解をいただき、旅費・滞在費をご援助いただけることに厚く御礼申し上げます。私の役目は、高専の視察とともに、来年2月の地区大会に地区の委員会としてシルネン君を米山学友ホームカミングのために招聘することになっており、その打ち合わせも兼ねて行かせていただきますので、良い成果とともに来年の地区大会に繋がる準備をしてまいります。

きょうは貴重な例会の時間を割いていただき、米山奨学生の卓話の時間を設けていただきありがとうございます。皆さんのお手元に「ロータリー米山記念奨学事業豆辞典」の改訂版が配布されているかと思ひます。きょうはその内容に深く触れることはできませんが、少しだけ米山記念奨学会の現状と地区委員会の活動の様子についてお話し申し上げます。

ロータリー米山記念奨学事業とは、日本のロータリーが作った独自の事業で、34地区、全地区が推進する合同プロジェクト、事業の始まりから一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を対象としています。「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは、この事業

をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する奨学財団で、財源はすべて会員の皆さんからのご寄付で成り立っています。この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。銀行振込が多い他の奨学金とは違って、実際に例会に出席するなどロータリー活動に共に参加してもらい、交流することを大切にしています。

米山記念奨学金は、日本のロータリーの父と呼ばれる米山梅吉氏が亡くなったあと、その功績を永くに偲ぶことができる事業をやろうと、1952年、東京 RC がはじめたものです。アジアから優秀な学生を招いて研究させようというもので、当時は「米山基金」という名前でした。当時、彼らが思い描いていたモデルは、アメリカのフルブライト奨学金でした。「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい」。当時の日本のロータリアンたちも、フルブライト上院議員と同様、人と人との交流こそが平和な世界の基礎を作ると考えていたのです。

こうして、東京 RC が始めた「米山基金」は、わずか5年で、日本の全ロータリークラブの共同事業となり、1967年、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。2017年には、財団設立50周年を迎えます。

1999年度採用の奨学生から、アジアからすべての国・地域が対象となり、現在、米山記念奨学会では年間730人、累計で世界123の国と地域から18,648人を支援しています。これは、外国人留学生を対象とする民間奨学金としては最大規模です。2015年度の奨学生の国・地域別の割合は中国が39.7%、韓国が14.4%、ベトナムが11.1%となっています。当地区では独自の選考基準として、出来る限り多くの国からの奨学生を採用するために、全体で採用学生の1カ国の国籍割合を30%以内とするなど国籍バランスを考えた選考を行っています。こうした工夫を34地区ですることによって、2012年度50.8%だった中国人奨学生の割合は、今年度39.7%と3年前に比べて大きく減りました。きょうは中国から留学している王 怡韻さんをお連れしましたが、とても優秀な留学生です。

当地区では、今年度24人の奨学生が割り当てられており10カ国の奨学生がおります。来年度は2人増えて26人になる予定です。ぜひ来年は米山奨学生をまた受け入れて頂けるようにお願いします。

王さんは、他の奨学生が卓話に消極的な時に、米山奨学生なのだから当たり前のごとくと、積極的に引き受けてくれ、これまでにもう3回卓話をしてきてきょうで4回目です。ただ、成田ロータリークラブのように大きなクラブでの卓話は初めてですから、相当に緊張しているはずですよ。どうぞいつもの通り温かな眼差しと広い心でお聞きいただけますようお願いいたします。では王さん、お願いします。

## ◇ 卓話

米山記念奨学生 王 怡韻

(世話クラブ：佐倉ロータリークラブ)

例会の貴重なお時間をさいて、本日こうして皆様の前で卓話をする時間を頂き厚く御礼申し上げます。私は、日本大学生産工学部4年の王怡韻と申します。世話クラブは佐倉ロータリークラブです。



はじめに自己紹介を兼ねて、自分の出身国と現在の状況、家族、日本との出会いのきっかけ、自分の将来の目標と夢、大学での勉強の専門分野についてお話しします。

私の故郷は中国の蘇州です。淡水湖や河が多いので、東方のVeniceと呼ばれます。水で育てられたので、男性も含めて性格は水のように優しいと言われます。両親は二人とも蘇州人で、母は漢方の薬剤師で、父はホテル関係の仕事をやっています。母は家族皆の身体を大切にしてくれますので、家族皆、健康です。また、父のおかげで、小さい頃から、様々なホテルに泊まったことがあります。私はホテルの中で、日本料理レストランに一番興味がありました。刺身をはじめ、寿司、うどん、ラーメン、お好み焼きなどは小さい頃からずっと大好きです。ただ、その時は単に美味しいと思って、好きになりましたが、中学生になってから、考え方が変わりました。日本の食べ物や製品は、作った人の真面目さ、さらにはものに対する愛が込められているから、すばらしいのだと思うようになりました。その時から、日本のものだけではなく、日本が好きになりました。日本に来て最初は慣れてはいなかったのですが、日本文化やマナーにもだんだん慣れて来ました。

今、私の国も、日本も高齢者社会を目の前にしています、私の将来の夢、それも一生の夢は、そのような皆様に夢を与え、喜ばせることです。そのため大学での研究は自動車関係で、高齢者に対する運転支援システムの構築です。弱い立場の人々を支援するのが私の研究の目的です。

次にロータリアンとの交流で楽しみにしていることをお話しします。

ロータリアンは多くの方々が自分の分野で成功した方達だと思いますが、同時に長い人生の中で失敗を味わった時も必ずあると考えます。私はまだとても若いのですが、少し前までは何をやっても必死に成功したいと思っていました。今は全く変わりました。失敗しても良い経験だと思って、平常心で頑張れば良いのだと考えています。

ロータリアンの皆様との交流で、一番楽しみしていることは、皆様のストーリーをお聞かせ頂くことです。例えば、失敗した経験、成功した経験、恥ずかしかった瞬間、自慢の瞬間、もっとも悲しかった時、もっとも嬉しかった時、一番後悔したこと、一番癒されることなど。私は、静かに耳を傾け、静かにその時々皆様の気持ちを感じ取りたいのです。今の私は短い時間ではありますが、皆様との交流で、いろいろな人生を少しは共感できるように成長したと思います。

3つめに日本にいる間に学業以外で学んでおきたいことをお話しします。

日本にいる間に学業以外で学んでおきたいことは沢山あります。私は一人っ子で、温室育ちのワガママで、人との触れ合いは苦手です。いつも相手の立場を考えずに、自分の思ったまま言ってしまうなどの失敗をしてしまいます。中国にいた時は、いろいろな人々に好かれたこともあります、嫌われた時もあります。昔の私は、嫌われても、あまり気にせず、ゆずらないので、問題は全然解決しませんでした。日本に来て、日本人のやり方を見ると、本当に勉強になりました。私ももっと良い人間になれるように少しずつ変えて頑張ってきました。どのようなところかという、例えば、電車の中で、人にぶつかられた時は、相手が悪くても、日本人は自分から謝ります。車を運転する人は、歩行者を見たら、車を止めて、道を譲ります。また、偉い人でも普通の人々に優しくします。私のカウンセラーが言った通り、「どんなに優秀であっても、それを鼻にかけることなく、他人の言葉に耳を傾ける謙虚さが人間を高める。」と常に思います。日本にいる間には学業も重要ですが、もっと重要なことは人々の良い性格を学んで、身につけることだと思います。

4つめは将来の自分の専門分野での計画についてです。

私の研究は高齢者に対する先進運転支援システムに関するものです。高齢化に伴い高齢ドライバー数は増加していく傾向にあります。同時に交通事故による高齢者ドライバー死者数の増加傾向が顕著であることがわかりました。そこで、高齢者に対して、安心安全な運転支援システムが必要と考えております。ここで、構築したい支援システムは自動走行技術も組み込みます。現在アメリカで行われている自律走行車両グーグルカーと同じように、周辺環境認識のため、カメラ、レーダセンサーやレーザセンサーも必要となります。GPS等を用い自分の位置を測定し、他の車両、歩行者とのスペースを認識し、熟練ドライバーモデルより行動を決定します。同時に、ドライバーの操作を監視します。そのために、運転中のシートの重心位置変化の軌跡から、ドライバーの操作を予測します。これらのことから、高齢者にとって、より受容性の高い運転支援システムを構築します。また、2020年度の東京オリンピックで自動走行バスを走らせるため、今年度から、私の所属している景山研究室が自動走行に必要なバス特性など、制御系に関する基礎研究に参加します。私も自律操縦班の一員として頑張りたいと思っております。

5つめは将来の国際交流について考えていることとお話しします。

ロータリーの理念である「世界においては、親善と平和の確立に寄与することを指向すること」、またロータリー全員の行動基準である「四つのテスト」は自分にとっても国際交流の基本になる考え方です。

1.真実かどうか、2.みんなに公平か、3.好意と友情を深めるか、4.みんなのためになるかどうかをいつでも心の中でかみしめ、言行はこれに照らしてから、「Of the things we think, say or do」。

また、国際交流では、相手は誰か、どこの出身か、今回の交流目的は何かなども考えないといけません。その時、例えば、学術、文化や歴史分野など、自分が何を伝えたいのを事前にしっかり準備し、目的を明確にし、それを達成するように頑張ります。ただ、今やるべきことは、まず、日本語と英語の能力を身につけることです。そして、中国と日本の文化を学習し、様々な文化の中で、素晴らしい部分を世の中へ伝えたいと考えております。

最後に奨学期間終了後のロータリアン、世話クラブやカウンセラーとの関わり方についてお話しします。

奨学期間終了後も、ロータリアン、世話クラブやカウンセラーとの連絡はとても重要だと思っております。奉仕活動の参加はもちろん、会員の交流、友好事業等も深めたいと思います。奨学生の私はロータリーの活動に入れていただき、一年間佐倉ロータリークラブにお世話になります。奨学期間終了後も、定期的に私の状況をカウンセラーと世話クラブに報告したいと考えております。そして、私も将来ロータリアンになれるように頑張りたいと思います。

その理由は、ロータリーの公式徽章に答えがあります。

ロータリーバッジは、6本のスポークと24の歯及び1つのかぎ穴からなる歯車をデザインしたもので、バッジをつけている時は、次のことを意味しています。

1. あなたは、私を信用していただいて結構です。私は信用に値する者です。
2. 私の用意はできています。何時でも、あなたのために奉仕できます。
3. 私は受ける以上のものを、あなたに与えます。私は人のために奉仕します。

米山奨学金に寄付金を出してくださるロータリアンの皆様は“思いやり”とか“人のために”という心構えを持っていると考えております。米山記念奨学生になることができ、実

際に奨学金を受けるようになって、私のような奨学生の生活や学業への支援だけではなく、ロータリアンの皆様からの愛を強く感じられるようになりました。「与えることは最高のコミュニケーションだ」、このような素晴らしい気持ちを、今のロータリアンの皆様と同じように、次の世代に伝えたいと思います。

人生は長いと思ったら長いですし、短いと思ったら短いです。人間はどこまでいけるかは自分自身では分かりませんが、一生懸命生きればどこで止まっても、最後に一生の流れを回想すると、良いことしか残っていないのではないのでしょうか。

以上で私の卓話を終了します。ご清聴ありがとうございました。

◇ 点 鐘 佐瀬 和年 会長

出 席 表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
63	62	45	17	72.58%	73.77%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
喜久川 登 会員	10月7日	山本ロータリークラブ
渡辺 孝 会員	10月14日	成田コスモポリタンロータリークラブ
喜久川 登 会員	10月19日	長崎北ロータリークラブ
渡辺 孝 会員	10月21日	成田コスモポリタンロータリークラブ

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700  
成田ビューホテル内  
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル  
電話 0476-32-1111  
例会日 金曜日 12:30  
例会出欠連絡先(直通)  
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078